

## 令和6年沼津市教育委員会 第12回定例会会議録

- 1 日 時 令和6年12月20日(金)  
午後3時00分～午後4時06分
- 2 場 所 沼津市民文化センター 2階 第2練習室
- 3 日 程
  - (1) 開会
  - (2) 会議録署名人の指名(川口委員 土屋委員)
  - (3) 教育長報告
  - (4) 協議事項
  - (5) 報告事項  
報告事項1 令和6年11月市議会定例会一般質問等について
  - (6) その他
  - (7) 議案  
議第22号 令和7年度沼津市立小中学校教職員人事異動の内申方針(案)について
  - (8) 報告事項  
報告事項2 服務義務違反に係る指導措置について  
報告事項3 交通事犯に係る指導措置について  
報告事項4 令和7年度夏以降の休日部活動の地域移行について

#### 4 出席者等

教育長 奥村篤、教育長職務代理者 佐藤清子、委員 土屋葉子、委員 川口浩史、委員 重光純、教育次長 金子昭人、教育指導監兼学校教育課長 山崎巖、教育企画課長 原将史、学校管理課長 齋藤忠興、文化振興課長 藤井貴弘、生涯学習課長兼ゆめとびら舟山所長 山本浩司、学校管理課長補佐 横山憲利、学校教育課課長補佐 磯部大介、学校給食室長 渡邊偉智洋、調整担当・教育企画課長補佐 内村一徳、教育企画課指導主事 内村宗靖、教育企画課事務補助員 後藤恵

#### 5 会議内容

##### (1) 開会

奥村教育長が午後3時00分開会を宣言する。

奥村教育長 明日は冬至ということで、日中の長さが1年のうちで最も短い日となる。明日を起点とし、少しずつ春へと近づいていくことと思う。2024年も残りわずかとなった。年齢を重ねるごとに月日の流れがますます早く感じられるのは、私だけではないと思う。

本日、市内小中学校では2学期の終業式を終えて、1月6日までの17日間の冬休みに入ったところである。報道関係が、門池小学校、静浦小中一貫学校に取材に入ったようなので、本日夕方の放送で子供たちの様子がわかるかと思う。最近、インフルエンザが流行しており、本日、愛鷹中学校では2年生が学年閉鎖、3年

生の1クラスが学級閉鎖のまま冬休みに入ったとの報告を受けた。なお、沼津市立沼津高等学校、中等部について週明け月曜日が終業式となっている。

(2) 会議録署名人の指名

奥村教育長より、会議録署名人に川口委員、土屋委員を指名する。

奥村教育長より、本日の会議は一部非公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 0人

(3) 教育長報告

奥村教育長 12月8日には、沼津市立図書館にて「ビブリオバトル小中学生大会in沼津2024」の決勝大会が開催された。御承知のとおり、ビブリオバトルとは、オスズメの本を紹介し合い、一番読みたくなった本（チャンプ本）を決めるコミュニケーションゲームである。当日の会場は、関係者や保護者等で満席となった。今年度の予選には、小学校9校から27名、中学校10校から30名の応募があり、当日予選を勝ち抜いた小学生8名、中学生6名で熱いバトルを繰り広げた。私は、午前中の小学生の部を観戦させていただいた。小学生のパフォーマンスには、人を惹きつける話術、豊かな感性から生まれる素直な言葉などを使い、相手に印象深く伝えようとするコミュニケーション能力の高さに大変驚いた。人前で自分の考えを伝える力は、生涯特に求められている力であり、その基となる読解力、想像力、思考力及び表現力を磨くには、読書は欠かせないこと、そして、読書は自分の人生を豊かにすることを小学生に話をさせてもらった。小学生の部では、原東小学校の伊東永凧さん、中学生の部では、第一中学校の尾崎友海さんの紹介した本がチャンプ本として選ばれた。当日は、9月に開催された静岡県高等学校ビブリオバトルに出場した沼津市立沼津高等学校から生徒2名に来てもらった。そのうち3年生の鈴木遥仁さんは、県で準チャンプ本に選ばれるという好成績を残している。当日は、中学生の部の後に鈴木さんにパフォーマンスを披露していただいた。また、1年生の草刈太陽さんには、小学生の部においてデモンストレーションをしていただいた。高校生の素晴らしい発表を聞いて、参加者は目指すべきビジョンが見えたのではないかな。

12月15日には、「沼津こども文化芸術祭 百花フェスティバル」が、沼津ららぽーとの協力のもと、ららぽーとひかりの広場にて盛大に行われ、私は午前の部を鑑賞した。今回、初開催となる百花フェスティバルは、「子供たちが習い事や独自に取り組んでいることを発表する場を設けたい」という実行委員会の熱い想いと御協力により実現されたものである。ピアノ、バレエ、フラメンコ、ヒップホップ、日本舞踊、フラダンス、合気道、ギターの弾き語り及びチアリーディングといった異なる9種目それぞれのパフォーマンスは、大変見事であった。多様な表現力と才能には目を見張るものがあった。当日一番印象的であったのは、何より、子供たちの生き生きとした表情であった。その姿には、鑑賞した方の全員がパワーをもらったことと思う。子供たちが芸術、文化に触れるということは、感性の豊かな心の育成にもつながる。また、今回のように自分の発表を誰かに見てもらうだけでなく、普段自分が取り組んでいること以外のジャンルを鑑賞し合うことで、さらなる高みへの挑戦や、自分自身への自信につながることもあるかと思う。子供たちが新たな発見、刺激を受けた有意義な機会になったことと思う。子供たち

の成長とともに、沼津市の文化・芸術を次の世代に継承する「沼津こども文化芸術祭」が、第2回、第3回と今後も継続されていくことを大いに願っている。その他出席行事については一覧のとおりとなっている。教育長報告は以上とする。

<協 議>

奥村教育長 日程（4）協議事項は、本日は案件なし。

<報 告>

奥村教育長 日程（5）報告事項である。

報告事項1 令和6年11月市議会定例会一般質問等について

<本会議で行われた一般質問等について報告する。5人の議員から、本市の文化芸術を活用したまちづくりについて、ICT活用教育推進事業について、避難所ともなる学校施設の防災機能強化のための取組方針について、シビックプライドの醸成について、市立小中学校の太陽光発電設備について等の質問があり、教育長及び教育次長が答弁を行った。>

(教育次長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わった。本件に関する御意見、御質問等いかがか。

川口委員 Chromebookの件について。1人1台端末が配付されて間もなく4年が経とうとしているが、子供たちによっては、端末を破損してしまうなどして、修理に出すこともある。しかし、一度修理に出すと、なかなか手元には戻ってこない。年数も経ってきて、今、そういった修理の全体的な状況等はどうなっているのか気になる。

学校教育課長 確かに、全体的に破損の頻度は増えてきている。故意の故障でない限りは無償で修理を行っており、教育委員会内情報教育推進室においても修理を承ることがあるが、修復不可能な状況の場合には業者に依頼するので、1か月ほどかかることもある。ほとんどの学校では修理のための保険に入っている。

川口委員 修理に出している期間、手元に端末がないことで困っていないのか。Googleからログインすれば、自宅のPCから使用することができるので、PCを持っていれば、自宅で使用する分には困らないかもしれない。学校ではどうなるのか。

学校教育課長 各学校には予備機があるため、修理期間中はその予備機を使用することとなるが、その予備機の台数が足りない場合には、一時的に学校の職員の端末を貸し出すこともある。万が一、それでも足りない場合には、端末を共有することとなる。

川口委員 予備機の台数を増やせばよいとは思いますが、端末の更新時期も迫っているので、微妙なところである。子供たちが困ってなければよい。

奥村教育長 更新に伴っては、文科省も予備機について考慮して予算化している。子供の数は年々減少しているため、4年前の端末導入時に比べて予備の数が増え、教育委員会内においても予備機を確保している。ほかになれば、本件については報告を受けたということで御了承願う。

<その他>

奥村教育長 日程（6）その他である。  
何かあるか。なければ、残る日程は非公開とする。

---

議第22号及び報告事項2、3は、人事案件であるため非公開とした。

報告事項4は、公表前の事項が含まれていたため当日は非公開としたが、審議の内容について公開することに差支えがないため公開する。

報告事項4 令和7年度夏以降の休日部活動の地域移行について

<深刻な少子化等を背景に、国から部活動改革の推進が求められており、本市においては取組方針を策定し、試行的な取組となる実証事業や関係者との協議・調整を進めている。このような中、令和7年度夏の新チーム編成時から、休日活動について一部の種目で学校部活動を廃止し、地域クラブ活動（ヌマカツ）に移行することについて報告する。>

（教育企画課長 資料に基づき報告）

奥村教育長 説明が終わった。御意見、御質問等いかがか。

佐藤委員 資料から、いくつかの運動部がヌマカツへの移行に向けて動いていることはわかった。ここに載っていない卓球部についてはどうなのか。また、文化部については俎上に載っていない気がするが、どうなのか。

教育企画課長 卓球部において、今年度は実証事業を行っている段階である。文化部についてその主なものは、吹奏楽部と美術部であるが、そのうち美術部は、現時点で休日に活動を行っていないことを確認している。吹奏楽部については、地域に存在する既存の団体が中学校の場所を借りて活動するような形で実証事業を行っている。会費をいただく形での実証事業ではあるが、学校の楽器や音楽室等を借りていることで生じる様々な課題について整理しているところである。

佐藤委員 取り急ぎ、ここに書かれてある種目から進んでいくという理解でよいか。

教育企画課長 このような形で打ち出すことの効果としては、この取組は関係者が主体的に動いていただかないと進まないものであることから、新入生となる生徒や地域のクラブ活動の担い手に向けてしっかりアナウンスを行い、実感とともに主体的に取り組んでもらうこととしている。

佐藤委員 別件で質問である。サッカーをエリア制の活動とする際、そのチーム分けについて、【南】の範囲が広すぎると思う。これまでの学校部活動の練習試合において、第二中学校の保護者が長井崎中学校に送迎する際、試合中ずっと会場で子供を待っているとのことだった。第一中学校から戸田小中一貫学校まで一括りとすると、1か所に集まって練習する際に、保護者の送迎が大変な気がするし、生徒の移動手段に難がある印象を受ける。

重光委員 戸田と長井崎に関してはもともとサッカー部がなくて、静浦も来年廃部となるので、実際には行くことがない。

奥村教育長 子供がやりたい活動をやらせてあげたいということで、戸田や長井崎に在籍していて、サッカーをやりたいという可能性もある。

重光委員 今回、初めて現時点での各部活動の在籍数の一覧を見た。例えば、男子バレーボール部については第四中学校にないことや、今までサッカー部や野球部といった王道の部活動に関してもほとんど在籍数がないことから、現在の子供たちは部活動を行うことも困難で、自分たちの時代は恵まれていたのを実感する。子供がやりたい活動ができるよう市としてできる限りの取組をお願いしたい。

奥村教育長 資料について。今後のスケジュールに関してだが、「令和6年12月末に各学校へ通知」とあるが、「各中学校」に通知ということでよいか。また、「各学校で開催する新入学説明会での説明」とあるが、「入学説明会」での説明ということでよいか。

教育企画課長 訂正する。

奥村教育長 現状は、各学校に任されている部分がとても多い。近隣市町の様子を見ても、全く同じような形では進んでいない。進捗状況に差があり、方向性も少しずつ違っている。総合型のクラブがある地域は受け皿があるが、全くそういったものがない地域も多い。東部の中では、沼津市の動向については各自治体が注目しているところである。ほかにいかがか。

なければ、本件については報告を受けたということで御了承願う。

以上で、本日の定例会を閉会する。

午後4時06分 閉会